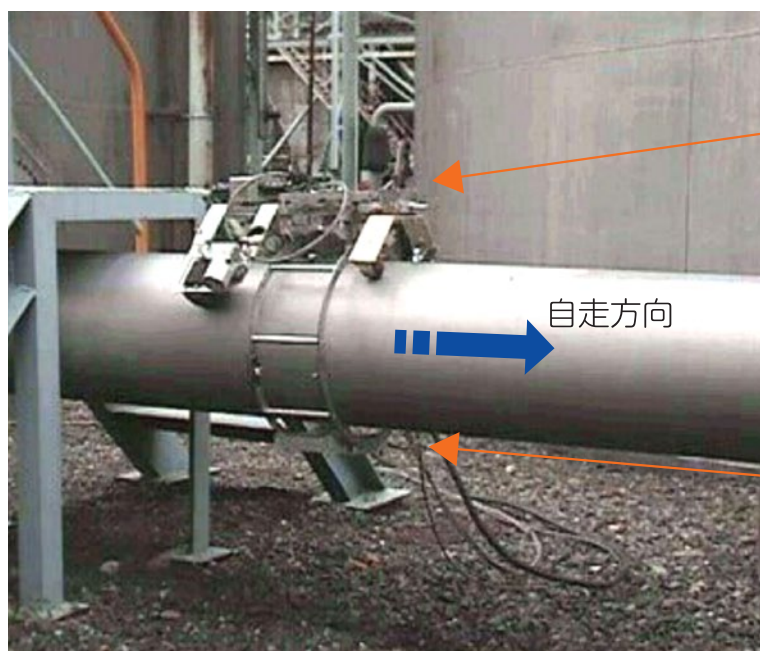


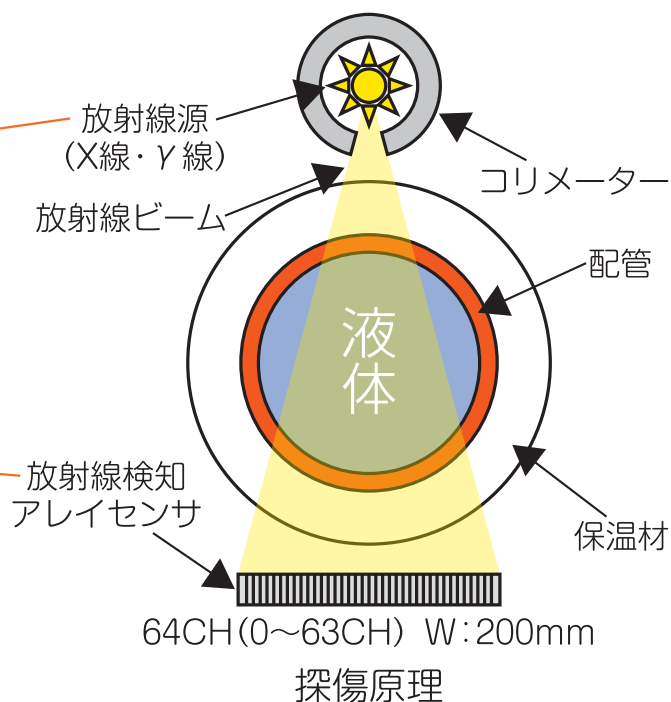
Thru-VUシステム

保温配管のリアルタイム検査

“Thru-VU”とは、透過法による放射線検査です。フィルムの代わりに放射線検知アレイセンサーを使用し配管を自走スキャンしながら、配管の腐食情報をリアルタイムでデジタル画像処理するシステムです。



Thru-VUシステム 自走式スキャナー



Thru-VUの特徴

- ① **保温配管・防食テープ・ライニング等施工状態**でそのまま検査が可能です。
- ② **高速検査**が可能です。(直管部では配管軸方向に**平均60m/日**)
- ③ プラントを停止せず**稼働中の検査**が可能です。
- ④ 足場仮設等の**付帯工事費用が大幅削減**できます。
- ⑤ 従来手法より**検査コストが大幅削減**できます。(超音波探傷法との比較)
- ⑥ **高温配管**(表面温度100℃程度まで)への適用が可能です。
- ⑦ **配管内スケール等堆積物の厚み、ライニング状態、異物等**の調査も可能です。
- ⑧ **幅広い配管**へ適用が可能です。
(ガス・蒸気配管：**直径5m程度** 油・水配管：**直径0.6m程度**)

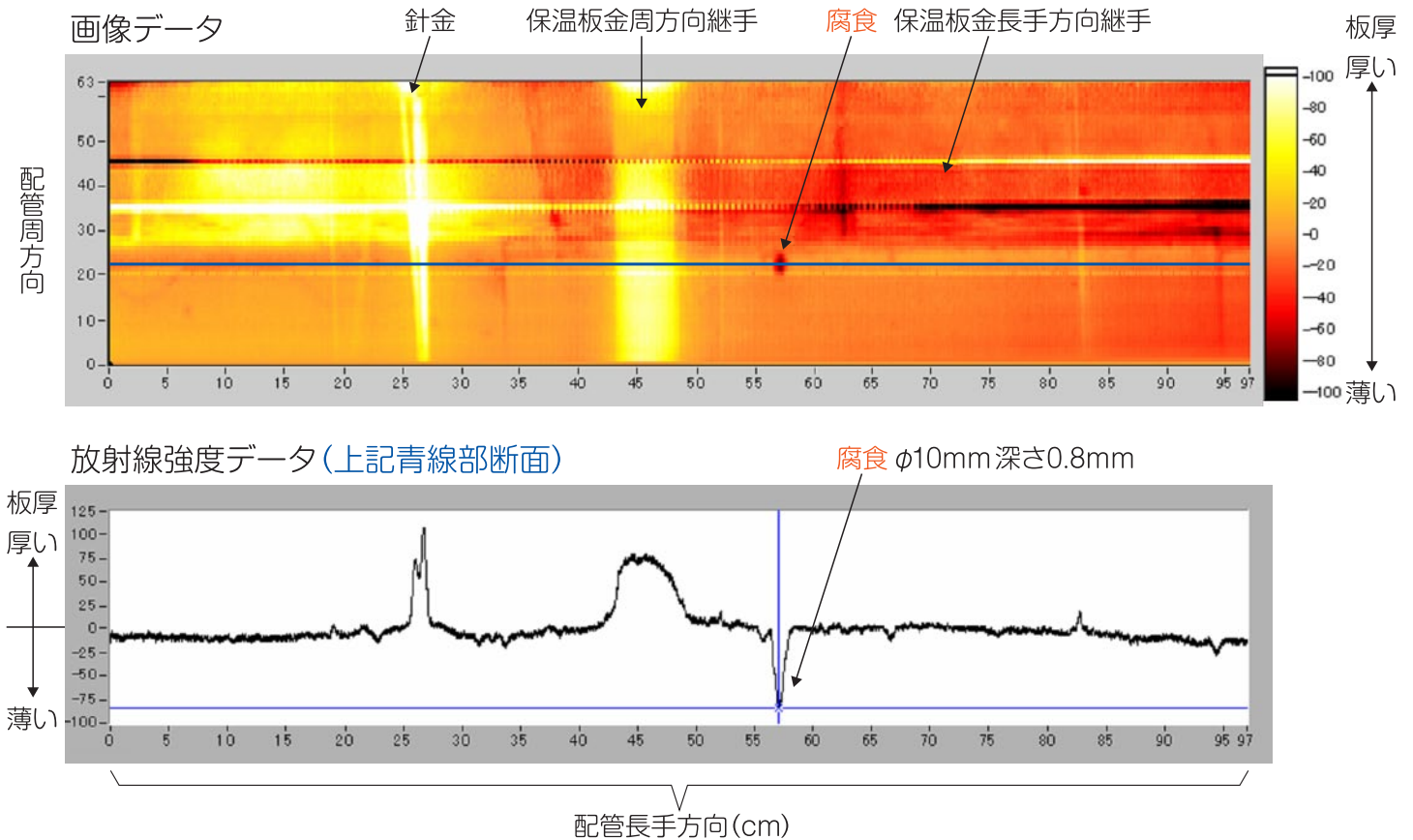
多数の工事实績

石油精製 = 33km 石油備蓄 = 10km 電力・ガス・水道 = 1.5km (H19.3現在)

画像データ(例)

画像解析データを色で区分し表示する他、放射線強度として板厚断面を数値解析することも可能です。

6B 油配管 保温材あり



従来方法とのコスト比較例

保温付き配管における、Thru-VUと従来方法(超音波探傷法)とのコスト比較例を以下に示します。

